

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIJYU松沢			
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日		～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月17日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	天候に左右されることなく、利用者様が体を動かすことが出来るブレイルームや、くつろぎルーム、学習室、園庭などのびのびと過ごせるスペースがあります。また、体調不良により感染症の疑いがある場合、隔離したり安心して静養することが出来るスペースがあります。	ブレイルームや園庭を最大限に利用して、集団活動や少人数活動、個別活動を取り入れ体幹を鍛えています。また、日頃より感染症に関する研修を行い、学んだことを生かし環境を整えています。	危険のないように環境整備をして、安全に過ごせるように点検を行い、職員間で話し合いをして確認していきます。感染症に関しては、実際に起きた場合に適切な対応、知識をもって取り組んでいます。
2	行事に参加してもらったり、お茶会などを通して、保護者の方と関わる機会が多く、保護者同士の交流できる場があります。	行事とお茶会を一緒の日に行うことで、行事での利用者様の様子や保護者同士のつながる機会を手助けしています。また、兄弟の方に参加してもらい交流などをはかっています。	お茶会を今後も取り入れていき、保護者の方との関係を深めたり、保護者の方同士や兄弟の方の交流も増やしていきたいと思っています。
3	利用者様の安全とプライバシーを配慮して、個別空間が提供できます。	ダンボールを使った個別スペースを作りました。利用者様が気持ちを落ち着かせたいときに入室してもらい、リラックスできる環境を整えています。	落ち着ける場所も保持して、利用者様の気持ちの安定がはかれるツールを複数見つけて提供していきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内が広く2ヶ所に分かれて活動すると、職員同士も分かれているため、情報の共有がとりにくいです。また、動線が長いので、移動に時間がかかったり、職員の配置が何力所か必要となります。	職員同士で確認を行っているが、把握するまでに時間がかかったり、配置場所に関しては確認をしているが、変更が生じやすいです。	児発管が間に入り、緊急連絡、相談をこまめに伝えたり、配置場所を図で書き見える化をして周知しています。全体を見守る人の配置も確認しています。
2	他事業所や地域の子どもたちと関わる機会がありません。	他事業所や地域の子どもたちと活動できるような準備が整っていません。	他事業所や地域の子どもたちとの活動が出来るように考えていきます。
3	医療関係や調理関係の職員が不在です。	会社として必要な職種であることを伝えて、職員で考えているが、求人を出してもなかなか見つかりません。	可能な範囲での支援をしていきます。 エビデンや感染症等の研修を行い、知識を増やして行きたいと思っています。